

1 / 6 (木) の発表

はじめよう、つづけよう。

「**北海道スタイル**」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル



報道発表資料の配付日時 1月6日(木)15時00分

発表項目 (行事名)	令和3年度(2021年度)第1回タンチョウ越冬分布調査の結果について		
概要 ※日時・場所・ 内容等	令和3年度(2021年度)第1回タンチョウ越冬分布調査を次のとおり実施しました。		
	1 調査実施日時等		
		令和3年度(2021年度) 第1回	令和2年度(2020年度) 第1回
	調査日時	12月3日(金) 8:50～9:10	12月4日(金) 8:50～9:10
	調査区域	9振興局41市町村	9振興局41市町村
	調査箇所	計349箇所(野生346箇所)	計324箇所(野生321箇所)
	調査協力者	小・中学生など計418人	小・中学生など計441人
	※十勝での調査時間は一部地域を除き9:00～10:00までです。		
	2 タンチョウ確認羽数 (単位:羽)		
	令和3年度 (2021年度) 第1回	合計:937【成鳥:829、幼鳥:72、不明:0、飼育個体:36】 野生個体:901(釧路:724、十勝:135、根室:15、オホーツク:9、日高:10、胆振:3、空知:3、石狩:2)	
令和2年度 (2020年度) 第1回	合計:1097【成鳥:859、幼鳥:139、不明:61、飼育個体:38】 野生個体:1059(釧路:864、十勝:142、根室:37、オホーツク:5、胆振:8、空知:3)		
3 今回の調査結果に対する有識者コメント概要 (有識者:正富 宏之 専修大学北海道短期大学名誉教授)			
○ 確認羽数について、前年同期より158羽(野生個体)少ない。			
○ 特に釧路管内で大きく減少しているが、調査日までの気温が高く、給餌場以外の人目に付きにくいところに広く分散していた可能性あり。			
○ 分布については、今年は新たに石狩管内で確認され、道央への分散拡大が徐々に進みつつある証とみてよい。			
○ 個体数増加に伴い分布域を広げつつあり、住民、児童・生徒等の調査参加を広く呼びかけたい。			
参考	今年度第2回目の調査は令和4年(2022年)1月25日(火)に実施する予定です。		
報道(取材)に当たってのお願い			
留意事項 ※日時・場所・ 発表者等	同時配付 同時レク 記者レク	道政記者クラブ、空知、石狩、胆振、日高、宗谷、オホーツク、釧路、根室の各(総合)振興局で同時配付します。	
その他	平成29年度から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社(JAL)と協働で調査を実施しておりますので、積極的な報道をお願いします。		
担当 (連絡先)	北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係(担当者:村上(秀)) tel 0155-26-9028(直通)		

区分	添付資料名	項目
資料1	別添資料(表)	① 2 3 4
資料2	別添資料(グラフ)	① 2 3 4
資料3	正富宏之 専修大学北海道短期大学名誉教授のコメント	① 2 3 4

※ 項目の内容は次のとおり

[1 同時送信する 2 記者室へ提供する 3 担当係にて保管する 4 FAX送信する]

※ 項目3の「担当係で保管する」は資料にできない場合(冊子類・CD-ROM等)のこと。